

独自活動

(1) 年度総会・交流会

活動計画、並びに決算や予算の承認を行います。また会員に資するテーマに則した講演会や、会員・委員同士の情報交換、新たなアイデアや新事業、共同研究へのきっかけ等を目的とした交流会も行っています。



(2) テーマ別研究会

会員が抱える課題解決のため、会員または委員が特定のテーマを独自に起案し設置する分科会です。メンバー同士のディスカッションや課題解決の糸口となる企業等へのヒアリングや施設見学、研究開発や商品の試作などさまざまな活動を実施しています。

【これまで設置された研究会】

- ・ものづくり産業を語る会
- ・ITで実現する生業の未来研究会
- ・小水力利活用研究会

◆活動の詳細は後述で紹介

(3) 講演会（技術懇話会）・懇親会

県内外において事業の成功や技術の確立を果たした経営者や技術者、注目すべき研究を行っている研究者、独自の取り組みを実践している地元企業経営者などによる講演会を実施し、会員企業の商品開発や技術開発に役立てています。また講師を囲んでの懇親会を開催し、交流を図っています。



(4) 販路開拓・展示会出展支援

会員が自社商品のPRや販路開拓を行う場合、展示会への出展料や出展にかかる費用の一部をサポートしたり、「高度技術利用研究会」として展示会への出展を行い、八戸地域の技術や製品等を内外に発信しています。



(5) 活動報告会・交流会

当研究会の1年間の活動報告を行っています。また会員企業に資するテーマに則した講演会や、会員・委員同士の情報交換等を目的とした交流会も行っています。

(6) 会報誌の発行

研究会のニュース等を掲載した情報誌を発行しています。

(7) その他

会員の要望に応じたさまざまな企画を実施しています。

関連活動（共催など）

(1) 研究室めぐり

地域内の大学・高専を訪問し、現在実施している研究内容を聴講し研究室を見学することにより、どのようなことに役立つかを勉強したり、自社の商品開発や技術開発に役立つためのヒントを得たりする機会として実施しています。

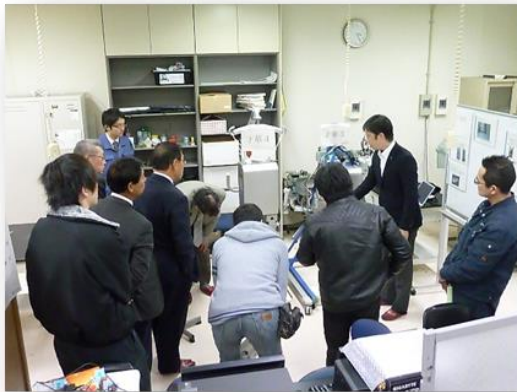
【訪問している大学・高専】

写真右 / 八戸工業大学

写真右下 / 北里大学獣医学部

写真左下 / 八戸工業高等専門学校

※ 要望等に応じて、公設試験研究機関の訪問も実施



(2) 企業視察会（県内企業視察会・県外企業視察会）

県内外の産業先進地を視察・見学をすることにより、当地域への高度化およびビジネス展開、並びに商品開発や技術開発のきっかけとするために実施しています。また視察先において交流会も行っています。

（会員は「会員特別価格」で参加できます）。

写真右 / ㈱デジアイズ（岩手県奥州市）

写真下 / 工業技術研究院（台湾新竹市）

写真右下 / 京セラ㈱（京都市）

◆ これまでの視察先一覧は後述で紹介



(3) 学による企業見学

技術的な課題等を抱えている企業に対し、大学・高専および公設試の研究者等、課題解決に資する知見を有する方々が実際に企業を訪問し、工場の見学や意見交換をしながら課題解決へのアドバイスや提案等行う目的で実施しています。



(4) 経営ビジネスセミナー

企業の経営者や技術者の経営技術の向上、あるいは経営革新を図るために実施しています。

(5) パソコン教室

大学等との共催・協力により、業務の効率化や改善に資するパソコンやタブレット等の活用方法を習得するため実施しています。

(6) 私のアイデア交流会

大学・高専等あるいは公設試験研究機関の研究者の他、県内外の企業等有するシーズや技術を当地域の企業にPRし、産学連携による共同研究等を通じて事業化を実現するきっかけとするため、講演会やフォーラム、セミナー、交流会形式で実施しています。

(1) ものづくり産業を語る会

テーマに合わせてテーマ別研究会員および必要な企業等を招集し、地域のものづくり産業の振興のために必要なことを、「企業の目的は顧客の創造にある」という観点から、「わたしたちは何をなすべきか？」を議論するグループです。

<実施内容（一部）>

- ◆イノベーションを起こそうと奮闘している企業等の事例を紹介しながら地域産業を考える意見交換を実施。これをきっかけに現在「八戸金属粉末研究会」が立ち上がり、造粒粉末を使った部品製造に向け取り組んでいる。
- ◆長期的に会社を存続させていくために、どういう“人”を育てるか？をテーマに、三八地域の経営者層や後継者の経営意識や、資質向上を牽引することをテーマとした企画会議を開催。これをきっかけに、自社分析や課題解決提案等経営ノウハウの習得のためのグループワークや、地域での人脈形成を促す「朝会」や「経営革新講演会」がスタート。
- ◆八戸地域で活動する複数の産学官（金）連携インフラを活かし、下記を柱とした「八戸地域産学官金プラットフォーム」の構築並びに当研究会が担える役割や取り組みについて意見交換するとともに、さまざまな立場の方々による横断的交流を通じて有機的なネットワークを構築。
 - ・競争的資金の導入による新産業・新規雇用創出
 - ・内発型（技術提案型）の大型プロジェクト
 - ・震災復興とコーディネーターの役割



(2) 小水力利活用研究会

企業の節電、省コスト化意識が高まっている近年、多くの製造業が立地する八戸地域において、企業内の未利用資源である排水・循環水などに着目し、産学連携によってその利活用の方法を検討するとともに、地域内に小水力発電施設を設置し、その効果を検証する研究会です。

(3) ITで実現する生業の未来研究会

IT関連企業が、異業種分野の現状やしくみ、課題等を把握する機会を得るため、さまざまな業種の事業所や施設・設備を見学したり、情報交換を行うことによって潜在的な種を発掘し、ビジネスチャンスの獲得に繋げることを目的に活動しています。またこの活動はソフトウェア業以外の事業者にとっても、「ITを活用して何ができるのか」といった可能性を知ることができ、自社の課題や業務の改善、生産性の向上等に役立ちます。

平成26年度は主に農業関連の事業所等を訪問し、さまざまなニーズや課題を発掘しながら訪問先との意見交換を行い、生産性や売り上げの向上へ向けた提案などを行っています。

写真下／青森県立三本木農業高等学校にて

